

研究課題名	パーキンソン病/パーキンソン症候群に関する診断、治療の観察研究
研究期間	2025年3月26日 ～ 2030年3月31日
研究の対象	2025年1月1日～2029年12月の間に広島大学病院脳神経内科および共同研究機関でパーキンソン病/パーキンソン症候群の診断を受けた成人の患者さん
研究の目的・方法	研究目的：パーキンソン病/パーキンソン症候群の患者さんは増加の一途をたどっていますが、現在の医療では根治療法がなく進行性の経過をたどるのが現状です。しかし、種々の薬剤やリハビリをはじめとした薬物以外の療法を組み合わせ、健康寿命を延伸させることが可能です。また、近年、治療法の開発も進んできています。本研究は、広島周辺の医療機関のパーキンソン病/パーキンソン症候群の患者さんの情報を登録し、診療録（カルテ）の情報や検査結果より、パーキンソン病/パーキンソン症候群の実態を明らかにすることを目的とした多施設共同の観察研究です。各種検査を行うことにより早期診断や病状進行に関わる因子を特定できることが期待されます。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）データを使用して、パーキンソン病/パーキンソン症候群の診断や病状、転帰に関係する因子について検討します。広島大学病院にてE2019-1628「神経疾患の研究のためのデータベース登録」に同意をいただいた方については、保管している血液や髄液の残余分を使用して、バイオマーカーの探索を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、利き手、生活状況、治療薬、合併症、初発症状、発症年齢、一般身体所見、神経学的所見、神経心理検査、血液検査、髄液検査、脳波検査、頭部画像検査、胸部レントゲン、嚥下機能、療養状況、イベント(入院、施設入所、死亡)の有無です。 試料：血液、髄液 取得した情報や試料(血液・髄液)は、氏名・住所・生年月日等の個人情報削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。 他施設の場合は、上述のように誰のものか分からないように加工された試料・情報を、広島大学病院の研究担当者が回収し、広島大学病院にて解析に用いられます。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
外部への試料・情報の提供	広島大学病院から外部への提供はありません。 共同研究機関から広島大学病院への試料・情報の提供は、郵送およ

	びパスワード設定したデータをメールにて提供します。
利用または提供を開始する予定日	広島大学における実施許可日（2025 年 3 月 26 日）以降
個人情報の保護	試料・情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付け、個人が特定できないよう加工した上で使用します。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本院の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科 教授 丸山 博文 研究機関の長：広島大学 担当理事 田中 純子 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科 教授 丸山 博文 共同研究機関 機関名 中国労災病院脳神経内科 責任者名 北村 健 機関名 広島西医療センター脳神経内科 責任者名 鳥居 剛
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 脳神経内科 担当者：中森 正博 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201